

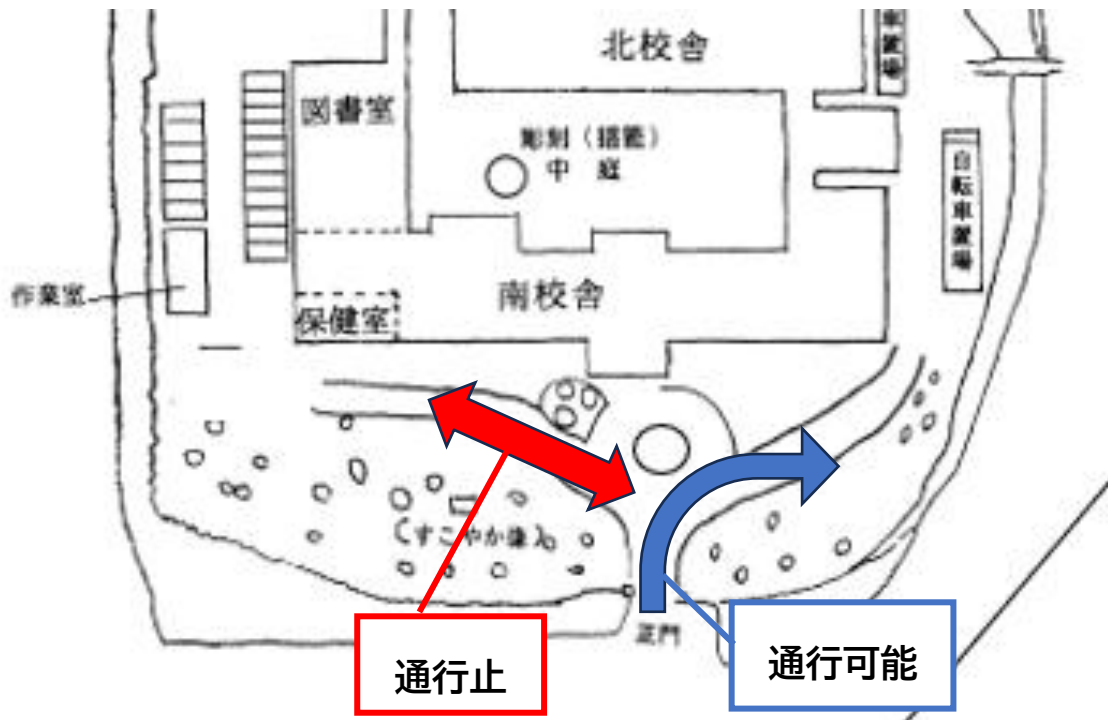
令和8年1月16日

ヒマラヤ杉の伐採について

伐採日時：2月21(土)・22(日)・23(祝日) 終日

雪等の悪天候で延期になった場合👉で行います。

予備日：3月20(祝日)・21(土)・22(日)



工事中は、赤い矢印の部分は通行禁止になります。

青い部分も、できるだけ通行はご遠慮ください。

作業中は、騒音も出ます。ご協力お願いいたします。

担当：同窓会係 永田

諏訪二葉高校正面玄関前ロータリーのヒマラヤ杉について

参考資料：「写真でかたる二葉百年のあゆみ」

昭和8年（1933年）7月に、岡見山校舎から、二葉が丘の新校舎に移転したときに、岡見山校舎の校庭にあったヒマラヤ杉を職員が自ら移植したものである。



岡見山校舎から大八車で引きつけられたヒマラヤスギ（昭和8年）

移植当初は、すべての体操の時間と、あわせて毎週2日、7時間目に全校作業が組み込まれ、すべての荒れ地が、生徒の手により整地された。このとき生徒の家から苗木を持ち寄って前庭に植えたのが始めとなって、以後、卒業生や職員の記念樹、夭逝した生徒の遺木が植えられたりし、県下の高校の中でも比類のないほどの美しい前庭に漸次整えられていった。

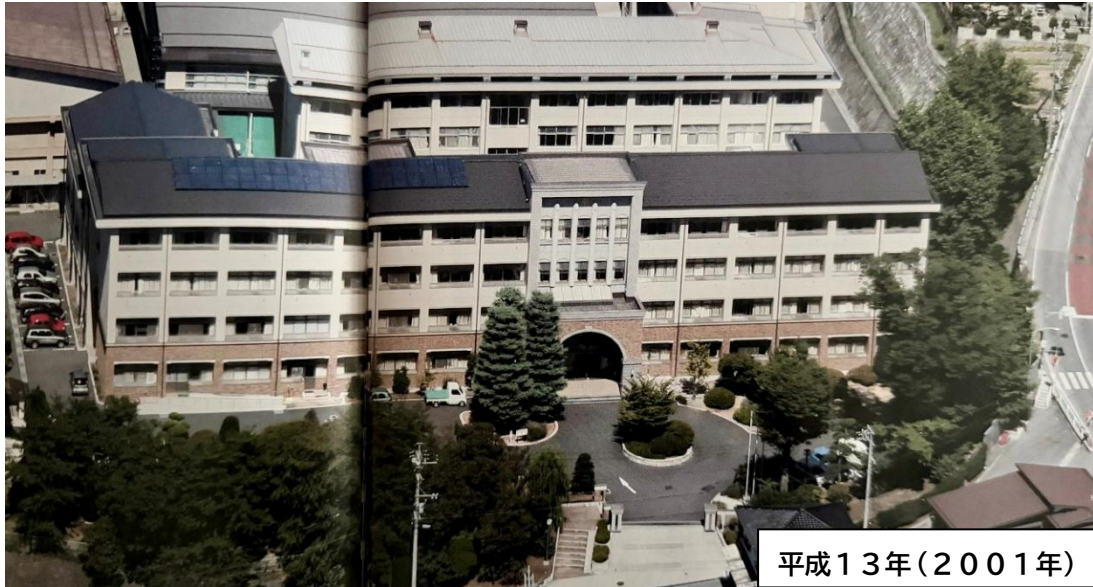


玄関前のヒマラヤスギとイロハモミジ（平成8年11月）
イロハモミジは高女26回生が植えたもの。

1960年代には旧本館を教育遺産として再生保存する意見もありましたが、1995年（平成7年）の阪神淡路大震災を契機に耐震性が問題視され、建て直しへと方向が確定した。

旧校舎の優美さを継承しつつ環境を保全するため、3本のヒマラヤ杉を保存した上で、新本館（南校舎）の外観や玄関の吹き抜け、中庭の設計に工夫を凝らしました。

2001年（平成13年）に、本館混合教室棟（南校舎）が完成しました。



・現在の状況について



令和7年(2025年)6月撮影



↑ ヒマラヤ杉の内側の様子

正面玄関を、隠してしまうほどに大きく成長していて、高さは南校舎4階を越えるほどになっている。樹木師の診断では、3本のヒマラヤ杉の内側は枯れていて、倒木の危険がある。また高さが4階を越えると落雷の可能性も出てくるそうである。そのため、本校で最も古いヒマラヤ杉を、このたび伐採することになった。

切った木材は、創立120周年(令和9年)の記念品として加工するなど、何かに生かせる方法を考えていく予定である。また跡地を、どのように利用するかも、広くご提案やご意見を募り、考えていきたいと思っている。